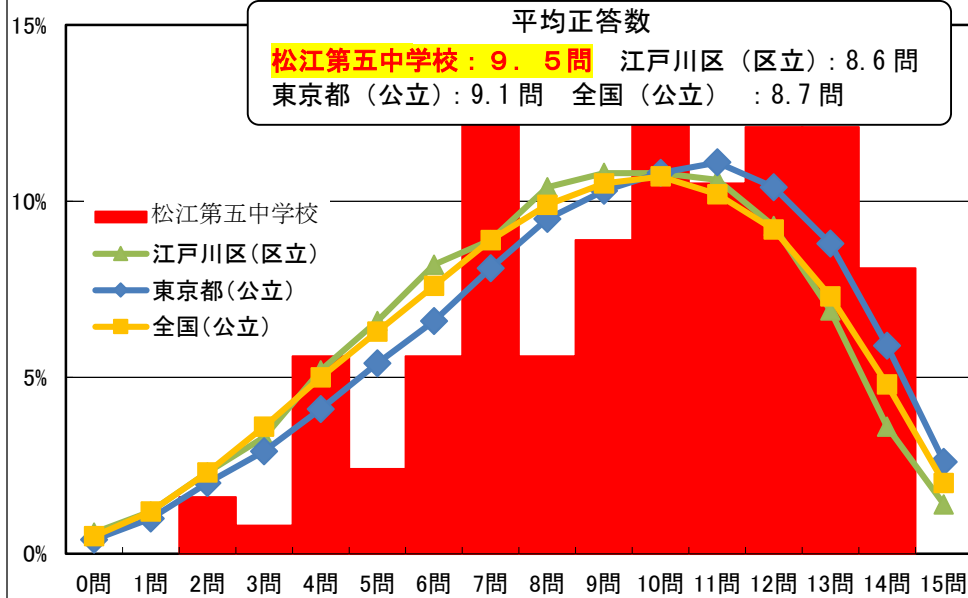
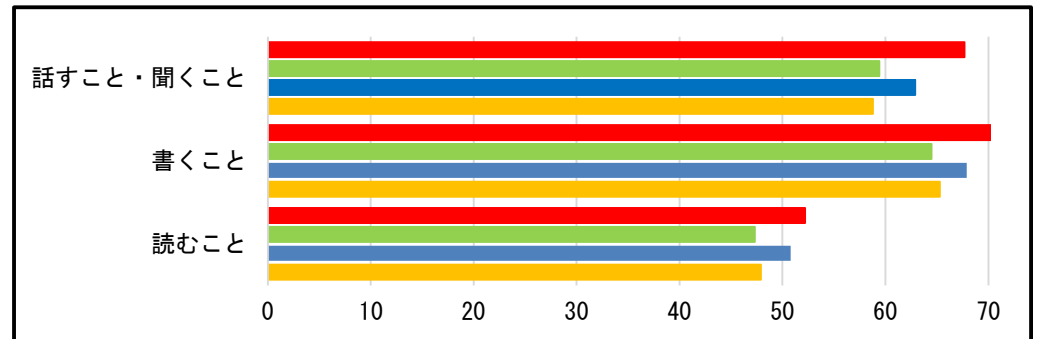
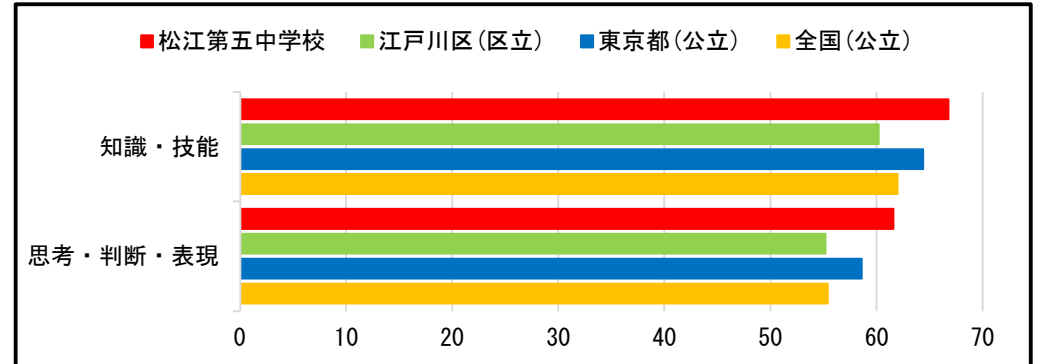


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 松江第五中学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

国語	上位 ← 下位			
	A層 12～15問	B層 9～11問	C層 7～8問	D層 0～6問
松江第五中学校	32.3	32.3	19.3	1.6
江戸川区(区立)	21.2	32.2	19.3	27.3
東京都(公立)	27.7	32.2	17.6	22.5
全国(公立)	23.3	31.4	18.8	26.5

【平均正答率の差】

松江第五中学校	64%
江戸川区(区立)	57%
東京都(公立)	61%
全国(公立)	58.1%
都との差	3ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

本校の国語の平均正答率は、東京都・全国の結果より高い数値が出ている。また、領域別、問題形式（選択式、短答式、記述式）のすべての項目において、東京都・全国の結果を上回った。今後も単元ごとに習得した知識などを活用し、協同学習・発表などを行い、各領域の学力の定着を図る。特に「書くこと」の学習課題を継続して充実させる。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。